

「クラシノコアゲ応援団」福島県中央街頭行動第10弾

2017春闘は賃金だけでなく地域社会や経済の底上げを！

～子育て支援策、女性活躍の後押しも訴えていく～



市民の皆さんに訴える今泉裕連合福島会長

クラシノソコアゲ応援団・街頭行動第10弾は2月2日(木) 16時45分から福島駅東口中合前にて連合福島と県労福協の共同開催で行われた。冒頭に連合福島・県労福協を代表して今泉裕会長が挨拶し、「今年も春闘が始まろうとしている。1月にはアメリカ大統領が就任し、モノロー主義(保護主義)が徹底される動きは、世界経済全体を見た時に日本経済や雇用にも大きな影響を与えることを考えて行かなくてはならない。これが今年の春闘の大きな課題になると思われる。また、働き方改革の議論が進んでおり、長時間労働の規制条件が出されました。残業代の未払いやいわゆるブラック企業のような会社は、今の時代に置き換えた時に社会が許さなくなっている。これからは働き方が従来とは違ってきていることから見直していく必要がある。さらに非正規労働者の皆様が対象となる同一賃金・同一労働のこともやはり真剣に考えて行かなければならない。一方では、子育て支援策と女性活躍の後押しを行う政策は重要。連合福島としてもこれらを念頭に地域社会、経済団体へ訴えていきたい。いづれにしてもこの春闘は、ただ賃金を上げるだけではなく地域社会や経済の底上げを行うことで暮らしの底上げにつなげていきたい。」と述べた。



報告をする佐久間通福島県労福協事務局長

その後、社民党福島県連代表の紺野長人県議会議員から応援と激励のご挨拶を頂いた。さらに県労福協の佐久間通事務局長より、給付型奨学金制度の拡充と導入への課題について報告があり、集まった聴衆の方々に向けてアピールを行った。また、道ゆく方へ労働相談ダイヤルや給付型奨学金制度導入に関する啓発チラシ、ティッシュ1,500個を配布した。



連帯の挨拶をする紺野長人社民党県連代



市民の皆さんにティッシュを配りアピール



進行する遠藤徳雄連合福島副事務局長

その後、社民党福島県連代表の紺野長人県議会議員から応援と激励のご挨拶を頂いた。さらに県労福協の佐久間通事務局長より、給付型奨学金制度の拡充と導入への課題について報告があり、集まった聴衆の方々に向けてアピールを行った。また、道ゆく方へ労働相談ダイヤルや給付型奨学金制度導入に関する啓発チラシ、ティッシュ1,500個を配布した。